



# なばり

2011年(平成23年) 2月27日発行

主 内容

- 1 2…市民広報特派員、広報なばりメールサポーター募集
- 3…ひまわり、子どもの予防接種、市の臨時職員募集
- 4…伊賀地域救急輪番表(3月)、まちの話題

発行/名張市企画財政部広報対話室 〒518-0492 名張市鴻之台1-1 ☎0595-63-7402 ✉pr@city.nabari.mie.jp 🌐http://www.city.nabari.lg.jp

◎「広報なばりメールサポーター」など読者の皆様のご意見を参考に、今号より、1ページ上段の「主な内容」を見やすくしました。

今年度、ご活躍いただいた市民広報特派員の皆さんに、1年間の感想を伺いました。



前列左から 島田 信人さん、井上 美恵さん  
後列左から 境 宏さん、瀬ヶ口 陽子さん

広報紙には、市民と行政をつなぐ大きな役割があると思います。しかし、広報紙を読んでも、市の意図が伝わらないことや、知りたいと感じた情報が掲載されていないことがあります。市民がどんな情報を望んでいるのかを、市は把握すべきですが、市民の側も特派員としてさまざまな情報を取り上げていくことが大切だと思います。

わたしたちが、特派員として記事を書くことになった際、大変そうだと感じましたが、市の担当者と一緒に書きあげていったので負担感は少なかったですね。わたしたちの周りでは、若い人はあまり広報紙を読んでいないようですが、ぜひ、若い人にも広報紙づくりに参加してほしいと思います。

今後も、広報紙などを通じて、地域のさまざまな課題に関心を持ち、みんなで考えていく必要があるでしょうし、これが、活気ある暮らしやすいまちにつながっていくはず。

このようにして、さまざまな人や団体の得意とする分野や経験、発想などを記事づくりに生かしていただくことで、市民の視点を大切にしながら、より効果的な広報を目指します。また、皆さんの地域での活動を活性化させる一つの手段にしたいと考えています。

■市民参加型の広報紙を目指しています  
市では、より分かりやすく、信頼される広報紙づくりを目指す中で、市民の皆さんにさまざまな方法でご協力いただいています。平成4年度からは、「市民広報特派員制度」により、市民の皆さんに、「広報なばり」の紙面評価や、取材・編集への協力、広報効果調査などに協力いただけてきました。昨年7月からは、より幅広い読者から紙面評価をいただくべく、電子メールを活用して、アンケートにお答えいただく「広報なばりメールサポーター制度」を

開始しました。そのほか、地域の皆さんの声を紙面に反映させるなどしています。

■「市民広報特派員」として、市民の立場で伝えてほしい  
広報紙には、暮らしの中での地球温暖化防止活動や、ポイ捨ての

「市民広報特派員」と「広報なばりメールサポーター」を募集します  
市では、「広報紙づくりに「市民の視点」を取り入れることで、より分かりやすく、信頼される広報紙を目指しています。現在、記事の編集などに携わっていただく「市民広報特派員」や、紙面を評価いただく「広報メールサポーター」などとして、市民の皆さんのご協力をいただいています。

今回から、「市民広報特派員」の募集対象に、市民公益活動を行う団体を加え、テーマに沿った記事を提案いただき、市と協働して記事を作成いただくと考えています。また、昨年度スタートした「広報メールサポーター」も同時募集します。

☎広報対話室 ☎63-7402

## 広報紙づくりに市民の視点を。



■市民広報特派員として…

「広報なばり」の記事を企画・取材・編集してください。

募集対象 市内で市民公益活動を行っている団体、市内在住・在学・在勤の人

右の3つのテーマからご協力いただける記事を選んで応募ください。

- ① 市民公益活動を活発にすることを目的とした記事(2ページ程度)
- ② 地域の課題(\*)を取り上げた記事(1~2ページ程度)
- ③ 地域の課題を取り上げた記事で、若者(10歳代~20歳代)が主にかかわる記事(1~2ページ程度)

募集の詳細は2ページをご覧ください。



\*「地域の課題」とは、総合計画で取り上げられている施策にかかわるもので、人権・健康福祉・高齢者福祉・障害者福祉・子育て支援・環境保全・省エネ・ごみの減量・防災・防犯・住環境・教育・文化など多岐にわたります。